

【 9 月の行事 】

中止	ミニデイサービス (室内レク)
未定	長寿会美化活動
未定	敬老会

【その他の行事】

【 10 月の行事 】

未定	ミニデイサービス (室内レク)
未定	長寿会ピクニック
調整中	区内清掃

【その他の行事】

【 11 月の行事 】

未定	地震・津波避難訓練 (宇堅守の会)
未定	うけんまつり
未定	ミニデイサービス (ピクニック)

新型コロナウイルス感染症の状況により、左記の行事予定は変更が生じます。ミニデイは当面中止

俳句の窓

散歩道暑さ感じる仏桑花
日の当たる垣の向こうバナナの実
ハイヤは私を超えて陽に向かう
磯遊びでできる磯など羨きせなり
夏大根ソーキの汁の具となりぬ
バナナ・パイヤ・大根、みんな好きです
(笑) (湧田清子作) (RII作)

健康入門/楽楽部

自治会勉強コーナー

(このコーナーは面白いな、すごいな〜と思った地域を紹介)

山あり、谷あり、笑いあり

島根県 飯南町 谷自治振興会

谷地区のある飯南町は島根県の中山間地域にあり、江の川水系の塩谷川とその支流の程原川に沿って住家及び耕地が点在している。島根県は県東部の出雲地方、県西部の石見地方、離島の隠岐の三つの地方から成り立っているが、飯南町は出雲と岩見の境目にあり、南方は広島県に接し、中国山地の山間に位置している。歴史をさかのぼれば、谷地区は石見地方に属していたが、昭和8年に旧赤名町と谷併が行われ、以降は出雲地方へと組み込まれることとなった。飯南町西部に位置する谷地区は、「山あり、谷あり、笑いあり」をテーマとし、谷自治振興会が地域づくりにおける様々な活動を担っている。約8世帯200人ほどが生きており、その高齢化率は80%にもなる。買い物は約9キロ離れた赤名地区へ行かなければならず、地区内の診療所は隔週1回のみと、車を持たない高齢者は誰かの助けがなくては生活が厳しい。昭和80年代からは過疎化の波により、人口、世帯数が急激に減少していった。昭和50年代に比較して現在の世帯数は約半分以下であり、人口は4分の1ほどにまで減ってしまっている。過疎化の深刻化に伴い、昭和50年代に「過疎対策委員会」を設立。これが現在の「谷自治振興会」の前身である。しかし、現在も人口の減少は加速しており、平成に入ってから児童数の維持もさらに難しく

なった。平成27年は谷地区にあった町立小学校が廃校となった。そのような背景もあり、問題に対処すべく住民主体の地域づくりを検討、実践し、住民間での結束を強めてきた。



廃校の小学校を活用した交流拠点「谷笑楽校」
※写真はインターネットサイトよりコピー



区内清掃の案内

区内清掃については、可能な限り実施したいと考えています。来月予定しています。住宅周りの除草、ゴミ拾いで、住環境をきれいにします。多くの区民のご参加をよろしく願います。



ジャガイモの注文受付中

- ◆予約締切:9月27日
- ◆品種:ニシュタカ(10kg)
- ◆予定価格:3,100円
- ◆入荷予定:10月上旬



ワクチン(新型コロナウイルス)について

新型コロナウイルスは、肺炎を発症し、急激に重篤状態となります。発症予防や重症化予防には、ワクチン接種が必須です。

- 抗体が3カ月後には大半減少する(高齢者ほど減少が大きい)。ただし、重症化予防の効果は一定程度見られる。
- 室内の換気を十分に行うことが重要です(特に事務室等)。

参考資料:朝日新聞(デジタル版)2021年8/26

婦人がん健診日程

うるみんでの婦人がん健診日程です。事前に予約が必要です。

注意: 保険証を持参すること

※受付時間=13:00~14:30

8	17日(火)	1	11日(火)
	24日(火)		25日(火)
9	21日(火)	2	15日(火)
			22日(火)
10	19日(火)		「ゆらてく」等、ほかの会場もあります。問い合わせ先:973-4960
	26日(火)		
11	30日(火)		
12	21日(火)		

「検診」・「婦人がん検診」ともに予約が必要です。予約先 ☎ 098197314960

検診日程

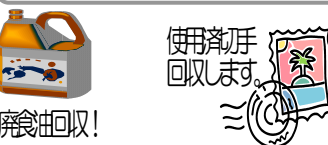
うるみんでの集団健診日程です。事前に予約が必要です。個別健診(医療機関に予約)もあります。

注意: 保険証を持参すること

※受付時間=8:00~11:00

9	22日(水)	1	21日(金)
			30日(日)
10	10日(日)		7日(月)ナド健診
	11日(月)ナド健診		
11	26日(火)	2	14日(月)
	1日(月)		26日(土)
12	2日(火)		27日(日)
	8日(月)		
12	17日(水)		
	4日(土)		
	5日(日)		
	20日(月)		

募集(臨時職) = 保健師・看護師・管理栄養士
※問合せ: 973-3209



(7月末)	宇堅(外国人除く)	うるま市全体(外国人含む)
人口(男/女)	1,261(648/614)	125,584(63,070/62,514)
世帯数	498	55,029
		50(1/49)

SOSネットワーク事業

認知症高齢者の検索のための事業です。登録後、迅速に検索活動ができます。

・電話番号 098-973-5112
・FAX 098-982-6041

【申し込み】

①役所(介護長寿課)に申請

【行方不明時は】

- ①警察に通報
- ②警察から市役所へ連絡
- ③自治会や民生委員等に連絡

救急医療情報キット

高齢者の万一の緊急事態に、迅速な医療処置が可能になります。公民館にお問い合わせください。

- ①かかりつけ病院
- ②緊急連絡先
- ③持病・体質等
- ④診察券(北°-)
- ⑤健康保険証(北°-)

【区長のドクターズ・ヒューズ(編集後記)】

9月の「敬老会」をはじめ、区民相互の親睦・交流が難しくなっている今、地域コミュニティ維持への懸念が…。県内の新型コロナウイルスの陽性者が世界最悪の発生状況。一体どこから来たのか?と思えます。ローカルニュース、後、GOTOキャンペーン、夏休みというタイミング。大都市圏では相変わらずの通勤ラッシュの電車。検査抑制。インフルエンザ感染。感染者の自宅放置。野党要求の臨時国会開催無視(憲法違反)。出口が見えませんが、「竹中平蔵 市場と権力」「改革」に憑かれた経済学者の肖像(佐々木実著)講談社文庫。今では『中抜き平蔵』とも呼ばれるパソナの会長。小泉政権以降から格差拡大を助長し、社会制度を崩してきた。(怒詠)

※今回も「字誌」関係の記事を掲載しました。皆さんの情報提供をお願いしたいと思います。

2節 幼稚園教育

1. 幼稚園の施設や設備の状況
「具志川市史だより」に記された玉那覇清子氏の談話をもとに以下に整理した。

(1) 施設・設備の状況
「アシビナーに園児を集め、松の木の下で教えた。字から予算をもらい、レコードを買い、レコードには遊戯の仕方などが載っていたので、それで子どもたちに教えた。また、「方言では何というんだよ、つという風にして教えた」。園児を連れて、安慶名幼稚園や赤野幼稚園の見学にも行った」と語っている。

玉那覇氏は、1954(昭和29)年8月頃から満2カ年間勤めた。

「オルガン・机・腰掛けがあり、リズム等は公民館前の広場で行うことができた。保育室と公民活動場所が区の行事や青年会のエイサー練習後の片づけ等で、翌日の朝、片付けや整理整頓で時間がかかり、子どもたちを待たせる場合があった」。

(※)これまで、2021年1月号掲載

(2) 教材・教具、給食、行事の状況
教材は、下記の市販の教材を用いて、子どもたちに教えた」と記されている。

① 月刊誌「保育」(教師用)
② 月刊誌「キンダーブック」、
「チャイルドブック」(園児用)

園児用の月刊誌は、保護者より購入費を徴収し、各園児の教材として使用した。

であるが、それでも公立化を求める運動を続けたのであった。

1968(昭和43)年4月、具志川校区・川崎校区の幼稚園が公立幼稚園として認可されたのを皮切りに翌年の1967(昭和42)年7月には田場校p1区の幼稚園、続いて1970(昭和45)年4月には天願、あげな、兼原、高江洲と、各校区の幼稚園が統合されていった。

宇堅幼稚園は、天願幼稚園と統合されて、1970(昭和45)年4月に天願小学校へ併設される形で、具志川教育区立天願幼稚園としてスタートした。



宇堅区 幼稚園卒園記念 1967年3月撮影 遠藤中田写真館

ミルク給食について、「天願小学校より、ミルク(脱脂粉乳)を一箱もらってきて沸かして作っていた」。

行事について、「運動会は、天願小学校の運動会で、幼稚園も参加し、宇天願の幼稚園と一緒に参加した」。「遠足は、保護者同伴で行う」。

(3) 講習会・研修会

「公民館幼稚園の書記の段階では、「講習会」の主催は社会福祉協議会が主に行っていた」。

「具志川市内の各幼稚園や同校区の先生方が集まり、教材研究などをやる。(全員が月一回集まり、各校区の持ち回りで行う)」。

「幼稚園協会の設立により、他市町村の公立幼稚園への視察研修等もあった」。「本土からの講師による講習会等も...あった」。

(4) 保育料・給料

「先生方の給料は、保護者から徴収する保育料で当てられていた」。

1965(昭和40)年9月議会に提出された「幼稚園に関する補助金交付」申請書の添付資料によると、宇堅幼稚園の場合、園児数が88名で、保育料が88セントとなっていて、給料が9ドル28セントとある。

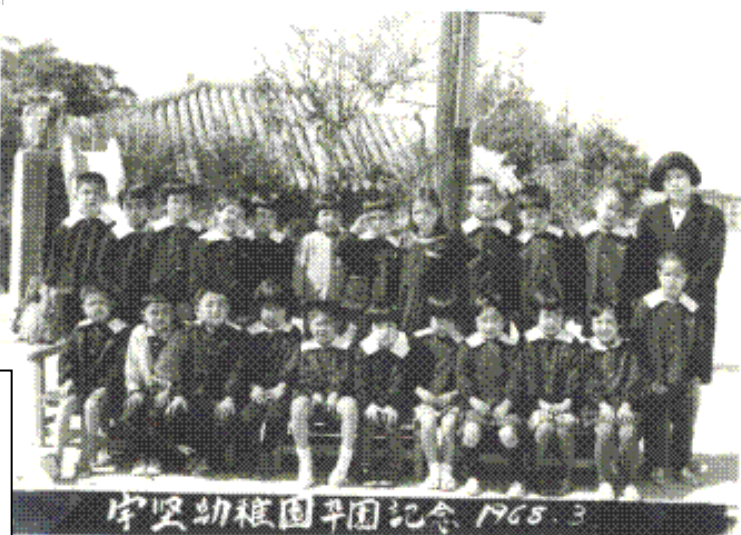
3. 公立幼稚園認可(具志川教育区立)

幼稚園の公立化にむけては、具志川村幼稚園協会を核にした活動があった。公立化による施設・設備の整備、先生方の正当な待遇等の確保が望まれていた。1960(昭和35)年以降、具志川村幼稚園協会から具志川村議会への陳情書が何度も提出されてきた。また、公立化に際しては先生方に幼稚園教諭免許の取得が必要であった。免許取得ができない先生方は、必然的に辞めざるをえないの

谷折り



宇堅幼稚園卒園記念 1970年3月 遠藤中田写真館



宇堅幼稚園卒園記念 1965.3

公民館幼稚園時代の卒園写真

※こうした昔の写真を探しています。ご家庭にある方は、ぜひ公民館まで、ご連絡をください。スキャンさせていただきたい。

困りごと相談窓口のご案内
(秘密厳守ですので、お気軽にご相談下さい)
【子供の健康や育児、DV関連】
・児童家庭課=973-5041/4983
・こども健康課=989-0220
【保育、子供の預かりや送迎関連】
・保育幼稚園課=973-5427
・ファミリーサポートセンター=070-5677-6733
【高齢者関連】
・地域包括支援センター=972-3595
【心身の障がい関連】
・障がい福祉課=973-5452
【就労・生活支援や生活保護関連】
・保護課=979-6552

こころの相談窓口のご案内(無料・匿名・秘密厳守)
・沖縄いのちの電話(10:00~23:00)=098-888-4343
・心の電話相談(平日9:00~16:30)=098-888-1450
・まもろうよこころ(中部保健所)=098-938-9700

後期高齢者医療の高額医療費自己負担限度額について
自己負担限度額の認定証が必要です。
相談先:国民健康保険課(後期高齢者医療係)
973-3202 (ファックス=974-6764)

具志川職業能力開発校
973-6680 / 5954

【受付期間】
・推薦選抜:9月上旬
・一般試験(第1回):10月上旬
・一般試験(第2回):2月上旬

【訓練科名】
・自動車整備科、電気システム科、メディアアート科、情報システム科、造園ガーデニング科、総合実務科、オフィスビジネス科

一般社団法人沖縄産業開発青年協会
4月入学&9月入学
資格取得の訓練を、寄宿舎生活(半年間・3食付)で行います。うるま市では、受講料(65万円)の半額又は全額補助が有り。
相談は→923-7634

【職業訓練】
・大型特殊自動車
・小型移動式クレーン
・車両系建設機械
・ローラー
・アーク溶接
・刈払機
・高所作業車
・玉掛け
・フォークリフト
・ガス溶接
・伐木

公共職業訓練受講者募集
ポリテクセンター沖縄(北谷町字吉原728-6)
電話=098-936-9222
科目=溶接ものづくり、運輸機関サービス、建設施工技術、住宅リフォーム技術、ビル管理技術、電気設備、組込みシステムエンジニア

うるま市ひとり親家庭生活支援モデル事業
ひとり親家庭の子どもの生活環境改善が必要で、以下の要件をすべて満たす方
1. 市内に住所(原則3ヶ月以上)+児童扶養手当受給中。
2. 18歳未満の児童を養育していること。
3. 自立の具体的な目標と意欲のある方
※優先→児童が3人以上、又は1才未満乳児がいる方。
※生活保護(住宅扶助受給者)や公営住宅入居者は対象外。

うるま市消費生活センター
消費生活に関する相談窓口です。
※契約トラブル、通販トラブル、フリーローンなどの困りごとの相談を受け付け、助言やあっせんなどを行います。
・市役所(東棟)1階:市民協働課 9:00~16:00
・直通:973-5692 FAX:974-6764
◆土日の相談窓口(全国消費生活相談員協会)
・03-5614-0189

うるま市地域包括支援センター(具志川ひがし)
高齢者と家族のための総合相談窓口です。ケアプラン作成も。
※電話 : 974-4001
※FAX : 974-8008
※所在地 : 上江洲779-2
※医療法人社団 志誠会

自筆証書遺言書保管制度
※予約が必要です。
※法務局(那覇地方法務局 沖縄支局)で扱います。
※沖縄市知花6-7-5
※電話:098(937)3278
※手数料:3,900円

この見開きページの下段は、私たちの困りごとを相談する窓口を掲載しています。

うるま市就職・生活支援パーソナルサポートセンター
経済的悩み、仕事探しについて、お手伝いをします。
①時間=8:30~17:00(月~金)
②場所=市役所(西棟)
③TEL:989-3972
FAX:989-3971